

天使のにもつ

(第三回)

いとろみく
カタントモコ 絵



〈前号のあらすじ〉

中二の斗羽風汰は職場体験で保育園に行く。親切なおんくんとのお出合いがあったり、園児たちの遊び道具になったりしながらも、昼寝の添い寝、読み聞かせを経験していく。そんな素のままの風汰を園長は温かく見守る。一日目がやっと終わり、夕食の弁当を買いに行こうとしたところで、風汰は、まーくんセンパイに会った。

「で、なに？ 風汰はどこに行くわけ？ 職場体験」

「保育園」

ぼそりと言うと、まーくんセンパイは一度瞬きをして、次の瞬間、爆笑した。

「オ、オレは、子ども好きとかそういうんじゃないから」「おまえもセンセーに決められちゃったくち？」